

令和 4 年度
事業報告書

(自令和4年4月1日 至令和5年3月31日)

社会福祉法人 日辰会

この写しは原本と相違ないことを証明します。

社会福祉法人 日辰会

理事長 高橋 通良

令和4年度 社会福祉法人日辰会

事業報告書

新型コロナウイルスの影響による新しい日常生活が定着してきた。
4年度は就労Bと生活介護の利用者が少しずつだが増加した。ただ、本人や家族の高齢化による問題が見え始めた年でもあった。

1. 当年度事業

法人として令和4年度下記事業を実施した。

(1) 第二種社会福祉事業

・多機能型事業所の経営

(就労継続支援B型) 定員38名

ロータス授産センター (定員28名) 平塚市出縄336番5

ロータス授産センター分場 (定員10名) 伊勢原市伊勢原2-5-9

(生活介護) 定員12名

ロータス授産センター 平塚市出縄336番5

・共同生活援助(介護サービス包括型)の経営

ヴィラ清川 (定員7名) 愛甲郡清川村煤が谷字姥石661番地

(2) 理事会、監事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の構成

① 理事

6名

高橋 通良

山口 晴一

小泉 一郎

須藤 俊男

中里 勝雄

中村 良枝

② 監事

2名

黒井 朝久

水地 啓子

③ 評議員

7名

伊藤 康雅

大塚 滋

朝倉 徳男

水島 米子

児玉 利治

黒部 光司

青山 元彦

④ 評議員選任・解任委員

3名

黒井 朝久 (内部)

中川 重年 (外部)

眞壁 洋道 (外部)

⑤ 苦情解決委員 2名

水地 啓子

大沢 知子

2 評議員会・理事会の開催及び監事監査の実施状況

(1) 評議員会の開催

| 開催年月日 | 議 題 | | |
|---------------------------------|-------|-------------------|----|
| 定時評議員会 R4, 6, 16 (書面) | 第1号議案 | 令和3年度事業報告(案)について | 承認 |
| | 第2号議案 | 令和3年度決算報告(案)について | 承認 |
| | 第3号議案 | 監事監査報告および財産目録について | 承認 |
| | 第4号議案 | 理事欠員1名の承認(案)について | 承認 |

(2) 理事会の開催

| 開催年月日 | 議 題 | | |
|---------------------------------|-------|---------------------|----|
| 第1回理事会 R4, 5. 30 (書面) | 第1号議案 | 令和3年度事業報告(案)について | 承認 |
| | 第2号議案 | 令和3年度決算報告(案)について | 承認 |
| | 第3号議案 | 監事監査報告および財産目録について | 承認 |
| | 第4号議案 | 理事の推薦(案)について | 承認 |
| | 第5号議案 | 決議の省略による評議員会の開催について | 承認 |
| 第2回理事会 R5, 3, 28 (書面) | 第1号議案 | 令和4年度第1次補正予算(案)について | 承認 |
| | 第2号議案 | 令和5年度事業計画(案)について | 承認 |
| | 第3号議案 | 令和5年度収支予算(案)について | 承認 |
| | 第4号議案 | 県実地指導に伴う改善報告について | 承認 |
| | 第5号議案 | 運営規程変更について | 承認 |

(3) 監査の実施

| | |
|----------------------------|---|
| 監査実施日 R4, 5, 21 (書面) | 黒井朝久、水地啓子監事2名により、法人定款第18条第1項の規程に基づき、令和3年度事業に係わる理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況について監査を実施した。 |
|----------------------------|---|

令和4年度 ロータス授産センター

就労継続支援B型 事業報告

令和4年度を振り返って

本年度は、利用者さんの入・退所が目立った1年であった。ちょうど利用者さんや家族の体調の変化が現れてくる時期であったと思われる。

現在通所している利用者さんの家族についても、加齢に伴う体調の変化が見られ、利用者さんの生活に影響が出るようになった。これらの問題は、施設内だけの支援では解決できず、自治体や他の事業所との協力により、利用者さんの将来を見据えた支援に取り組んだ。この種の事案は、既に40代の利用者さんの多くに片鱗を見せ始めている。

一方、就労支援事業の下請け部門については、コロナの影響による落ち込みを回復し切れていない。単価等の交渉をすることにより、収入金額を少しでも維持できるよう努めた。

本年度実施事業内容

施設の基本方針

一般企業で働くことにより困難な障害者が、自立した日常生活または社会生活を営むことが出来るよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとする。

基本方針を遂行するために守ったことは

1. “命と人権尊重”
2. “利用者主体のサービス提供”
3. “健康な生活”
4. “職員の資質、専門性の向上”
5. “施設運営の透明性の堅持”

具体的活動

本年度重点活動

新型コロナウイルス対策の継続

施設内ウイルス菌の除去（光触媒による）

マスクの着用

送迎バスのウイルス菌除去

送迎バスの台数を増やし、利用者の数を減らす

送迎バス、乗車時の手指の消毒

出勤時に玄関で手指の消毒

出勤時の体温・酸素飽和度のチェック

更衣室の使用は、密を避けて時間差使用

全体ミーティング・全体での体操の中止

各所の消毒の徹底

うがい、手洗い、顔洗いの徹底
 常時、換気
 間を開けての作業（向かい合わせに座らない）

1. 処遇面

(1) 利用者の意思尊重

①作業の選択

②担当職員の選択制（平成8年度からの継続）

③苦情解決責任者による利用者さんご本人からの聴き取り調査
 （平成8年度からの継続）

④利用者自身の主体的な企画、運営による厚生活動の実施（継続事業）
 本年度は、コロナのため、外出事業は出来なかった。

⑤利用者や保護者と共に考える個別支援計画の策定

新年度個別支援計画をケース会議にて原案を策定し、4月に利用者本人及び家族等の同席のもと説明・調整し、ご本人の同意を得て個別支援計画を策定、実施した。

(2) 利用者会の活性化（継続事業）

自分たちの生活は自分たちで決めるという認識が以前に比べ、定着してきた。

(3) 日課

| | |
|-------------|--------------|
| 8：30～ | 送迎開始 |
| 9：30～ | ミーティング・ラジオ体操 |
| | 午前の作業 |
| | 途中1回休憩 |
| 12：00 | 午前の作業終了 |
| 12：00～13：00 | 昼食・休憩 |
| 13：00～ | 午後の作業 |
| | 途中休憩1回 |
| 15：15 | 後片付け、帰りの会 |
| 15：30 | 帰宅 送迎開始 |
| 16：30 | 送迎終了 |

(4) 年間行事 別掲

(5) 環境整備・安全

・施設設備の保守点検・清掃委託業務

| | |
|---------|-------------------|
| エレベーター | 毎月1回 |
| 浄化槽 | 年6回 |
| 浄化槽法定点検 | 年1回 7/29 |
| 防災設備 | 法定点検2回 7/12, 3/24 |
| 受水槽 | 7/8 清掃、点検 |

| | |
|--------|-------|
| 水質検査 | 7 / 8 |
| 電気設備点検 | 年6回 |

(6) 個人情報保護の徹底

前年度同様、常に個人情報を意識した行動に、職員全員で努めた。

(7) より良い支援の提供のために3指針の整備

- ・感染症対策指針
- ・虐待防止のための指針
- ・感染症対策指針、

従来、職員研修で、上記について研修を実施してきたが、指針を策定することにより職員の意識の醸成を図った。

同時に、指針を利用者さんや家族に提示することにより、利用者さんや家族の安心感につながった。

(8) 健康管理

| 日時 | 種別 | 内容 | 実施者 |
|--------|-------------|---|-----------|
| 毎日 | 体温 酸素飽和度 | 新型コロナウイルス対策 | 支援員 |
| 毎月 | 身体測定 | 身長、体重 | 支援員 |
| 隔月 | 血圧測定 | 血圧 | 支援員 |
| 9, 22 | 定期健康診断 | 内科、血液検査、血圧測定、メタボ | 森腎クリニック |
| 12, 15 | インフルエンザ注射 | | 森腎クリニック |
| 2, 16 | 定期健康診断 | 身長、体重、聴力、視力、血圧 血液、尿、内科、心電図、X線 メタボ | 全日本労働福祉協会 |

毎月初旬 身体測定（身長、体重）を支援員が実施

- ・ 嘱託医 森腎クリニック 森忠三 0463-76-1112
- ・ 協力医 三浦胃腸科クリニック 0463-37-1177
- ・ " 北山整形外科 0463-32-6020

(9) 防災

- ・ 災害発生に備え、防災備品等の再点検及び補充をした。
- ・ 非常時用薬品の確保、特に利用者の常備薬の預かりの継続
- ・ 防災の日常化のために、食品や医薬品のローリングストックを実施。

防災訓練実施状況

センター・分場

| 実施日 | | 想定 | 訓練内容 |
|------|------|----|------------|
| センター | 分場 | | |
| 4, 1 | 4, 4 | 火災 | 避難・初期消火訓練 |
| 5, 9 | 5, 9 | 地震 | 避難・負傷者搬出訓練 |

| | | | |
|-------|-------|----|----------------------------|
| 6, 1 | 6, 6 | 火災 | 避難・通報訓練・初期消火訓練 |
| 7, 1 | 7, 4 | 地震 | 避難 |
| 8, 1 | 8, 1 | 火災 | 避難・初期消火訓練 |
| 9, 2 | 9, 1 | 総合 | 避難・通報・初期消火訓練 (消火器) |
| 10, 7 | 10, 3 | 地震 | 避難 |
| 11, 7 | 11, 1 | 火災 | 避難・初期消火訓練 |
| 12, 2 | 12, 5 | 地震 | 避難・負傷者搬出訓練 |
| 1, 11 | 1, 6 | 総合 | 避難・通報・初期消火訓練 (消火器) |
| 2, 1 | 2, 6 | 地震 | 避難 |
| 3, 7 | 3, 6 | 総合 | 厚木防災センターが利用できないため、ビデオにより研修 |

- (10) 安全 車輻にドライブレコーダーを搭載
防犯カメラ (不審者対応) の設置
平塚市より防災無線ラジオの導入

(11) 就労支援事業

就労支援事業収入の大半が企業からの受注作業である。本年度は、自動車部品関連とその他の加工を受注。

| 年 度 | 平均工賃 (円) / 月 |
|-------|--------------|
| 令和2年度 | 15,645 |
| 令和3年度 | 15,999 |
| 令和4年度 | 16,840 |

2. 施設活動の開示、PR

- (1) ホームページにより、情報発信。
スマホ対応ページ作成
- (2) 地域活動への積極的参加
コロナウイルス対策のため地域活動に参加できなかった。

3. 職員

- (1) 職員の資質、専門性の向上
- 施設外・施設内研修状況 別掲
 - 今年度の研修は、虐待防止、身体拘束禁止、感染症対策、交通安全等リスク対策に重点をおいた。

(2) 会議の充実

| 名 称 | 内 容 | 回 数 |
|-------|-------------------------|-----|
| 職員会議 | 施設全般、利用者全般、職員全般に係るもの | 月1回 |
| ケース会議 | 利用者個人に関すること、支援計画、モニタリング | 月1回 |

(3) 職員配置状況 (直接処遇職員)

| | | |
|--------------|-------------|------|
| 前年度平均利用者数 | 26.8人 | |
| 基 本 | 前年度利用者数/7.5 | 2.7人 |
| 目標工賃達成指導員を含む | 前年度利用者数/6 | 6.2人 |

| 職 種 | | 常勤換算 | 常勤 | 非常勤 | 備考 |
|-----------------|-------|--------|----|-----|------|
| サービス管理責任者 | | 1 | 1人 | | 分場兼務 |
| 目標工賃達成指導員 | | 1 | 1人 | | 分場兼務 |
| センター (定員28名) | 職業支援員 | 2. 1 | 0人 | 4人 | |
| | 生活支援員 | 1. 5 | 1人 | 1人 | |
| 分場 (定員10名) | 職業支援員 | 1 | 1人 | | |
| | 生活支援員 | 0. 4 | | 1人 | |
| 支援員計 | | (7. 2) | | | |

その他の職員

| 職 種 | 常勤換算 | 常勤 | 非常勤 | 備考 |
|-----|------|----|-----|------|
| 管理者 | 1 | 1 | | 分場兼務 |
| 事務員 | 1. 4 | | 2 | |
| 嘱託医 | 1 | | 1 | |
| 運転手 | 0. 3 | | 1 | |

2023,3,31 現在

以上

令和4年度 ロータス授産センター
生活介護 事業報告

令和4年度について

生活介護の利用者が少しずつ増え、利用者さんの交流の幅も広がった。

4年度、生活介護では、利用者さん目線に立った支援を実施するために、一日の過ごし方についての考え方を変えた。施設が作ったスケジュールで一日を過ごすのではなく、利用者さん自身が考えたメニューで一日を過ごすことにした。結果として作業の喜びや、創作活動に生きがいを見出し、主体的、積極的に日々を過ごすことが出来ることを願って支援に努めている。

1. 基本方針

利用者一人一人の思いやニーズを尊重した日中活動支援を行い、利用者一人一人の個性を大切にすると共に、個々の人生の充実を目指した支援を提供する。

基本方針を遂行するために

1. “利用者さんの命・人格・人権の尊重”
2. “利用者さん主体のサービス提供”
3. “健康な生活”
4. “職員の資質、専門性の向上”
5. “施設運営の透明性の堅持”

2. 職員

| | |
|-----------|------|
| 前年度平均利用者数 | 4.6人 |
| 指定基準上必要職員 | 0.7人 |

実際

| | 常勤換算 | | |
|-----------|------|------|-------|
| 管理者 | 1名 | 常勤 | |
| サービス管理責任者 | 1名 | 常勤 | |
| 生活支援員 | 3.7名 | 常勤1名 | 非常勤5名 |
| 看護師 | 1名 | | 非常勤 |

3 本年度重点項目

新型コロナウイルス対策

施設内ウイルス除去（エアプロット）

マスクの着用

出勤時、体温、酸素飽和度の測定

手指の消毒。

こまめなうがい、手洗い、顔洗いの実施

常時の換気

密を避け、間を開けて着席（対面の場合はビニールシートを利用）

送迎車両の台数を増やし、密にならないよう配慮

送迎車両のウイルス除去

4. 日課

| | |
|-------------|---|
| 9:00 | 送迎開始 連絡帳の確認、着替えの支援 |
| 10:00～ | ミーティング・体操 午前の活動 自立課題（利用者さんと相談して決めたもの） |
| 12:00 | 軽作業、散歩、創作活動など |
| 12:00～13:00 | 昼食・休憩 |
| 13:00～ | 午後の活動 歯みがき、読書、軽作業、軽い体操等 途中1回 ティータイム 後片付け・帰宅準備・帰りの会 |
| 15:00 | 帰宅 送迎開始 |
| 16:30 | 送迎終了 |

5. 当年度実施内容

1. 支援目標

- (1) その人らしく、いきいきとした日々
- (2) 健康で楽しい日々
- (3) 日常生活の自立に向けた訓練

2. 事業内容

- (1) 利用者さんや家族と共に生活介護計画を作成し、それに基づいた個別支援実施
- (2) 利用者さん本人の能力と意欲を尊重し、現在の体力や能力の維持を図った。
日々の活動内容を利用者さんとの話し合いで決定
それぞれの体調に合わせ、毎日、楽しくからだを動かす時間を取った。
- (3) 地域生活に必要な知識及び能力の向上のために必要な支援の実施
・生活全般を通して、協調性・思いやり等対人関係の援助・指導を実施。
・行事やサークル活動等を通して、必要な対人関係や金銭管理等を支援。
- (4) 相談支援
・利用者さん個々の意見・意思表示を真摯に受け止め、問題解決に努めることにより信頼関係を深め、支援の成果を上げるよう努めた。
- (5) 環境整備
・利用者さんが安心・安全に過ごせるようリスクマネジメントの体制を整えた。
・3指針（虐待防止のための指針、感染症対策指針、身体拘束等禁止のための指針）の整備
・苦情解決担当者、責任者、委員会を設置。
・防災対策の適切な実施
- (6) 行事及び余暇活動支援
基本行事は就労継続Bと共通
クッキング
家族が留守の時、一人で簡単なものが食べることができることを目標として実施

3. 避難訓練は就労継続Bと合同実施

4. 苦情対応

法人苦情対応規程に基づき苦情発生時の迅速な対応を基本とした。

法人単独の苦情対応の第三者委員を設置。
苦情解決責任者、苦情受け付け担当者を配置

5. 健康面

(1) 健康管理

看護師や嘱託医と相談しながら、利用者さんの健康維持に努めた。

(2) 健康診断 年2回実施

9月16日 森腎クリニック

2月17日 全日本労働福祉協会

(3) 協力医

森腎クリニック 0463-76-1112

北山整形外科 0463-32-6020

三浦胃腸科クリニック 0463-37-1177

6. 職員・施設

(1) 職員の資質、専門性向上のための研修実施 (別紙)

(2) 会議 施設全体で実施

職員会議 月1回 実施

ケース会議 月1回 実施

(3) 防災対策・危機管理は、就労Bと連携

・災害発生に備え、避難訓練、施設内の避難路等の確保、防災備品等の整備・充実を図った。

・非常時対応のために日頃、利用者さんが服用している薬の預かりをした。

・防災の日常化の1歩として、非常食、医薬品、日常用品のローリングストックを始めた。

・防災組織 就労継続Bと連携

・消防計画・管理運営規程に基づく消防設備の保守点検。

・避難訓練 就労継続Bと合同実施

(4) 個人情報保護の徹底

法人個人情報保護規定に基づき、常に個人情報保護を意識した行動をとるよう、職員全員で努めた。利用者自身の意識も引続き育成した。

(5) 環境整備・安全

・施設内は、常に清潔、安全、整理整頓に努め、利用者が快適で安全に作業ができる環境を整えた。

・エレベーター、浄化槽、防災設備、受水槽、電気設備等の法定保守点検業務の適性実施

(6) 施設活動の開示、PR 就労継続Bと連携実施

・ホームページにより、施設活動の開示を図った。

以上

令和4年度

行事報告

ロータス授産センター
(就労B・生活介護)

| 月 | 日 | 内 容 |
|----|------------|---|
| 4 | 1 | ロータス授産センター（就労継続B型 利用者23名、職員 10名、生活介護 利用者9名、職員5名）ロータス授産センター分場（就労継続B 利用者6名、職員2名）でスタート |
| 4 | 1 | 入所式（就労B 2名、生活 2名） |
| 4 | 8 | 地域交流活動 蓮大寺花祭り参加 |
| 4 | 16 | 新人歓迎食事会 |
| 4 | 16 | 土曜レク（お花見、伊勢原駅周辺散策）分場 |
| 4 | 21～23 | 体験実習 1名 |
| 4 | 25 | 生活介護 1名入所 |
| 5 | 21 | 新人歓迎会 |
| 5 | 21 | 監事監査 |
| 5 | 30 | 第1回理事会 |
| 6 | 16 | 評議員会 |
| 6 | 28, 29, 30 | 外出行事 ららぽーと |
| 7 | 4～15 | 伊勢原養護学校より実習生1名 |
| 7 | 5 | 見学者2名（湘南養護） |
| 7 | 5, 6, 7 | 外食実施 |
| 7 | 8 | 創立記念日 |
| 7 | 29 | 見学者2名（伊勢原養護） |
| 8 | 1 | 見学者2名（伊勢原養護） |
| 8 | 6 | 納涼会 |
| 8 | 12～16 | 夏期休暇 |
| 9 | 6 | 湘南養護学校より見学 保護者2名 |
| 9 | 17 | 花菜ガーデンでレク |
| 9 | 22 | 健康診断 森腎クリニック |
| 10 | 3～11 | 湘南養護学校より実習生 1名 |
| 10 | 15 | 外出行事（湘南平）（伊勢原散策） |

| | | |
|----|---------|-------------------------|
| 10 | 17～28 | 伊勢原養護学校より実習生 1名 |
| 10 | 29 | センター洗面所、改修工事 |
| 11 | 28～12/2 | 平塚ろう学校より実習生 1名 |
| 12 | 8 | 分場 見学 3名 (一般) |
| 12 | 8・9 | 湘南養護学校より体験実習生 2名 |
| 12 | 13 | 県による実地施設監査 |
| 12 | 15 | インフルエンザ予防接種 |
| 12 | 15 | 就労B 1名退所 |
| 12 | 23 | 湘南養護学校より見学 保護者4名 |
| 12 | 24 | クリスマス会&忘年会 |
| 12 | 28 | 大掃除、仕事納め |
| 12 | 31 | 就労B 2名退所 |
| 12 | 29～5 | 冬期休暇 |
| 1 | 6 | 仕事始め |
| 1 | 14 | 新年会 |
| 1 | 20 | 湘南養護学校より見学 保護者4名 |
| 1 | 30～8 | 湘南養護学校より実習 1名 |
| 2 | 3 | 節分 (豆まき) |
| 2 | 17 | 健康診断 (全日本労働福祉協会) |
| 3 | 2 | 事務室 エアコン修理 |
| 3 | 3 | 外出行事 (小田原方面、えれんなごっそで食事) |
| 3 | 11 | 総合避難訓練 防災ビデオ・訓練等 |
| 3 | 13～17 | 平塚ろう学校より実習生 1名 |
| 3 | 14 | 就労B 入所者1名 |
| 3 | 28 | 第2回理事会 |

令和4年度 ヴィラ清川 事業報告

令和4年度について

入所者は増えていないが、体験利用者は少しずつ増えてきている。
家族の年代により、入所に対する意識が大きく異なることを実感した1年であった。
利用者の将来を考え、どういった生活を目指すのか、グループホームの役目は何なのかを考え、今後もご家族と話しあって利用者の将来を見据えた支援を提供していきたい。

1. 基本方針

利用者さん一人一人の思いやニーズを尊重し、生きがいを持って楽しく生活出来るよう、一人一人の個性を大切にしながら日中活動支援並びに夜間支援を行う。また、ご家族が安心して預けることが出来るよう、安全で、健康的な施設づくりを目指すと共に、自立と社会活動の促進を図り、地域社会に開かれた施設運営に努める。

基本方針を遂行するために守ることは

1. “利用者さんの命・人格・人権の尊重”
2. “利用者さん主体のサービス提供”
3. “健康で落ち着いた生活”
4. “職員の資質、専門性の向上”
5. “施設運営の透明性の堅持”

2. 職員

管理者 1名（常勤）
サービス管理責任者 1名（常勤）
サービス支援員 0.5名（常勤1名、非常勤1名）
世話人 1.9名（非常勤2名）
夜勤スタッフ（非常勤・常勤）

3. 日課表

| | |
|-------------|---------------|
| 6：00 | 起床、身支度等 |
| 6：40～7：30 | 朝食、服薬、片づけ |
| 7：30～8：00 | 身支度、通所準備、出勤準備 |
| 8：00～9：00 | 自由時間、出発 |
| （各自、日中活動） | |
| 16：00 | 帰宅、自由時間 |
| 17：30～18：30 | 夕食、服薬、片づけ |
| 18：30～21：30 | 入浴、自由時間 |
| 22：00 | 就寝 |

4. 今年度 支援実施内容

支援目標

- ・その人らしく
- ・健康で生きがいのある日々
- ・家庭の温かさで

- ・相談支援
 - ・食事の提供
 - ・健康管理
 - ・入浴・排せつ
 - ・緊急時の対応
 - ・行事
 - ・環境整備
 - ・苦情対応
 - ・虐待防止
 - ・防災対策
- ・安全で健康な生活を送ることが出来るよう助言・援助を行った。
- ・朝食・夕食（月～金）
・土・日・祝日は3食
・ご本人の希望を取り入れながら、バランスのとれた食事を提供することに努めた。
- ・体重測定、健康診断、通院同行等健康的な生活を送るための支援を行った。
・生活習慣病、感染症の予防に努めた。
・嘱託医 森腎クリニック 0463-76-1112
協力医 梶浦医院 046-241-1932
- ・基本の生活スキル定着のため、必要な範囲及びご本人の同意を得た範囲で入浴・排せつの支援を実施。
- ・緊急時の連絡体制を確保。連絡先・連絡方法は共同生活居住内の見やすい場所に掲示。
- ・年末の宮が瀬のクリスマスは、体験利用者さんも一緒に3回実施。毎年楽しみにしている利用者さんも多い。
- ・施設内は、常に清潔・安全・整理整頓に努め、利用者が快適、安全に生活ができる環境整備に配慮。また、感染症等が発生しないよう職員間の連携を密にし、清潔・安全に配慮した。
・利用者さんが安心・安全に過ごせるようリスクマネジメントの体制を整えている。
・3指針の整備
虐待防止
感染症対策
身体拘束禁止
- ・法人苦情対応規程に基づき苦情発生時の迅速な対応
・法人単独の苦情対応の第三者委員会を設置。
・苦情解決責任者、苦情受け付け担当者を配置
- ・常に人権を意識した支援をし、職員研修を実施。
- ・危機管理
・防犯カメラの設置
・警察等に通報できる機器を設置
・セコムと契約
・災害発生に備え、昼間・夜間避難訓練の実施
・施設内の避難路等の確保、防災備品消防計画・管理運営規程に基づく消防設備の保守点検（業者委託）
・防災設備、電気設備等の法定保守点検業務の適性実施
・避難訓練の実施。夜間訓練の実施（実施日は、別掲の行事報告に記載）

- ・健康管理
 - ・ 嘱託医及び協力医と連絡をとりながら、利用者さんおよび職員の疾病予防に努めた。
 - ・ コロナ対策は、前年度を継承、実施。
 - 施設内のウイルス菌の除去（光触媒による）
 - 帰宅時、起床時の体温チェック
 - 帰宅時の手指の消毒
 - うがい、手洗い、顔洗いの励行
 - 各所の消毒の徹底
 - 蜜を避けた生活（食事、自由時間）
 - 換気
- ・ 個人情報保護の徹底
 - ・ 法人個人情報保護規定に基づき、常に個人情報保護を意識した行動をとるよう職員全員で努めた。
- ・ 職員
 - ・ 職員の資質、専門性向上のために、系統的、効果的な研修を実施。
- ・ その他
 - ・ 共同生活援助計画の作成と共同生活援助計画に基づき利用者さん一人一人に応じて必要な支援を行った。
 - ・ その他、関係市町村等連絡調整を密にした。

令和4年度

ヴィラ清川 主な事業

共同生活援助

| 月 | 日 | 内 容 |
|----|------|----------------------|
| 4 | 5 | リクエスト献立 |
| 4 | 6 | 避難訓練 地震（夜間実施） |
| 4 | 14 | 職員会議 |
| 5 | 9 | リクエスト献立 |
| 5 | 24 | 職員会議 |
| 6 | 2 | リクエスト献立 |
| 6 | 13 | ケース会議 |
| 7 | 6 | 七夕献立メニュー |
| 7 | 20 | 避難訓練 地震（夜間実施） |
| 8 | 2 | 消防点検（足柄防災） |
| 8 | 4 | リクエスト献立 |
| 8 | 5 | 除草（業者による敷地内実施） |
| 8 | 5 | 職員会議 |
| 9 | 5 | リクエスト献立（誕生日メニュー） |
| 9 | 22 | 健康診断（森腎クリニック） |
| 10 | 4 | 避難訓練 火災（夜間実施） |
| 10 | 6 | リクエスト献立 |
| 11 | 2 | リクエスト献立 |
| 11 | 14 | ケース会議 |
| 12 | 9 | 外出行事（宮が瀬イルミネーション見学） |
| 12 | 13 | 県 実施指導監査（施設） |
| 12 | 14 | 外出行事（宮が瀬イルミネーション見学） |
| 12 | 15 | インフルエンザ予防接種（森腎クリニック） |
| 12 | 20 | 外出行事（宮が瀬イルミネーション見学） |
| 12 | 23 | クリスマス献立 |
| 12 | 10 | 職員会議 |
| 1 | 12 | リクエスト献立 |
| 2 | 2 | 豆まき・リクエスト献立 |
| 2 | 2, 3 | 職員研修（強度行動障害 実践研修） |
| 2 | 8 | 防災点検（足柄防災） |
| 2 | 16 | 健康診断（全日本労働福祉協会） |
| 3 | 2 | ひな祭り献立 |
| 3 | 24 | 職員会議・ケース会議 |

令和4年度 研修状況

施設外研修

| | 研 修 内 容 | 参加人数 |
|-----------|-------------------------|------|
| 5月6日 | ・コロナウイルス等感染症対策研修 | 1 |
| 6月24日 | ・BCP作成研修(災害・新型ウイルス発生時等) | 1 |
| 7月14・15日 | ・全国知的障害施設・施設長等会議 | 1 |
| 9月29日 | ・安全運転管理者講習 | 1 |
| 10月17日 | ・虐待防止・身体拘束に関する法令への理解研修 | 1 |
| 11月29・30日 | ・強度行動障害支援者養成研修(基礎研修) | 1 |
| 11月30日 | ・共に生きる社会を支える意思決定支援研修 | 1 |
| 2月2・3日 | ・強度行動障害支援者養成研修(実践研修) | 1 |
| 3月17日 | ・社会福祉法人会計担当者研修 | 1 |

施設内研修

| | 研 修 内 容 | 参加者 |
|-------|----------------------------------|----------|
| 4月1日 | ・職員の資質向上研修 ・感染症対策(新型コロナ対策等) | 職員全員・利用者 |
| 5月9日 | ・虐待防止・身体拘束適正化研修・防災・防犯危機管理 | 職員全員 |
| 6月1日 | ・利用者の個人情報保護について・安全運転管理研修 | 職員全員 |
| 7月1日 | ・事故時の対応と予防について・防災・防犯危機管理 | 職員全員 |
| 8月1日 | ・個人情報保護について・感染症対策 | 職員全員・利用者 |
| 9月2日 | ・職員の資質向上研修(法令等の理解) ・障害者差別防止法等 | 職員全員 |
| 10月7日 | ・虐待防止・身体拘束適正化研修・安全運転管理研修 | 職員全員 |
| 11月7日 | ・職員の資質向上研修(利用者の意思決定支援) | 職員全員 |
| 12月2日 | ・感染症への対策(新型コロナ・ノロ等) ・安全運転管理研修 | 職員全員 |
| 1月11日 | ・感染症への対策・サービス提供プロセスへの理解 | 職員全員 |
| 2月1日 | ・人権擁護・虐待防止研修・安全運転管理研修 | 職員全員・利用者 |
| 3月7日 | ・職員の資質向上研修(個別支援計画等) ・防災防犯危機管理 | 職員全員・利用者 |